

海原

題字河原孝好先生

発行
平成 28 年 12 月 10 日
第 44 号
海原会
発行人 徳光和夫
編集責任者 小西洋也

〔海原会事務局〕
〒 169-0072 東京都新宿区大久保 3-6-1 海城学園
TEL 03-6233-9631 FAX 03-6233-9641
ホームページ URL <http://www.unabarakai.jp>



昭和19年卒から平成卒まで67名が参加



第五回 海原会ゴルフ大会

会員同士の幅広い親交、交流、親睦を促進しようと始まった海原会ゴルフ大会は今回で5回目を迎えました。回を重ねるとともに参加者の年代の広がりもみられ今回も上は昭和19年卒の大先輩から下は平成卒の、若手まで総勢67名の参加をいただいて開催することができました。

第五回大会は10月14日に海原会会長の徳光先輩もご出席頂き、快晴の千葉大栄カントリー倶楽部で開催されました。参加者のメインは昭和30年代卒、40年代卒で占められましたが、今回は50年代、60年代、さらに平成卒の若い世代の方の参加も増えて、幅広い世代の交流の場として定着し始めています。今回は節目の第五回大会でしたので各賞景品をふんだんに用意、またチーム別対抗戦を取り入れるなど新しい試みも実施しました。次回以降もいろいろな企画して大会を盛り上げていきたいと思っておりますので現役世代の若い方々、是非有休を取ってでもご参加して下さいることを期待しております。横の繋がりがかりではなく、縦の繋がりがりも広がっていきましょう。

大会実行委員長 石黒 淳一郎
(昭和47年卒)



第五回海原会GOLF会コンペ出席者

昭 19 小倉 康弘	昭 35 鴨下 孝信	昭 38 飯村昭太郎	昭 44 岡川 清明	昭 48 角 達也	昭 57 坂本 明久
昭 31 越川 照夫	昭 35 渡辺 浩志	昭 39 鶴殿 幸夫	昭 44 鈴木 正廣	昭 48 萩野 正雄	昭 57 橋本 孝一
昭 32 鈴木 健義	昭 36 浅倉 政行	昭 39 角田 純一	昭 44 吉田 孝雄	昭 48 吉田 雅明	昭 57 原 和生
昭 32 吉岡 幸夫	昭 36 伊藤 邦正	昭 39 丹羽 秀夫	昭 44 大工原光男	昭 49 石川 秀樹	昭 57 吉岡太二郎
昭 33 池内 宏	昭 36 岡本 隆雄	昭 39 吉岡 博	昭 45 田中 元博	昭 49 金子 弘行	昭 62 伊藤 和寛
昭 33 山口 正弘	昭 36 菅野 晴宣	昭 40 石原 新造	昭 46 工藤 聡	昭 50 高橋 通浩	昭 62 国井 信男
昭 33 谷口 賢	昭 36 林 昭策	昭 40 三輪 和夫	昭 46 原 孝	昭 54 樋口 稔洋	昭 62 佐々木雅人
昭 33 西川 芳弘	昭 36 藤咲 浩男	昭 41 小西 洋也	昭 47 石黒淳一郎	昭 56 東海林尊信	昭 62 都倉 茂昭
昭 34 安藤 浩	昭 36 山田 雅康	昭 41 小吹 優	昭 47 長濱 憲一	昭 57 荒尾 純平	昭 62 古市 基彦
昭 34 小山 隆紹	昭 37 菅野 文夫	昭 41 羽根井泰郎	昭 47 里村 豊	昭 57 岩水 満	昭 62 市井 宙史
昭 34 徳光 和夫	昭 37 山田 和弘	昭 43 永江 学	昭 48 石川 隆一	昭 57 小林 伸一	
			昭 48 甲斐 彰義	昭 57 込谷 憲	

		OUT	IN	グロス	HDCP	NET
優勝	羽根井泰郎 (S41)	40	40	80	9.6	70.4
2 位	古市 基彦 (S62)	44	46	90	18.0	72.0
3 位	岡川 清明 (S44)	42	41	83	10.8	72.2

※海原会は皆様の会費で運営されております。

見学会



総勢36名参加 日比谷門と豪華ランチを堪能

今年の見学会は海城学園125周年を記念して、この8月に赤坂にある山脇学園本校に移設されたかつての海城学園の校門だった「武家屋敷門」を訪ねました。この門は我が母校の日比谷時代の校門として使われていたましたが、その後数奇な運命を辿り現在山脇学園の所有となっています。見学会は10月8日(土)にOB家族および学校関係者を含め総勢36名が参加して行われました。

時折降る小雨の中、地下鉄「溜池山王」



今年の見学会は海城学園125周年を記念して、この8月に赤坂にある山脇学園本校に移設されたかつての海城学園の校門だった「武家屋敷門」を訪ねました。この門は我が母校の日比谷時代の校門として使われていたましたが、その後数奇な運命を辿り現在山脇学園の所有となっています。見学会は10月8日(土)にOB家族および学校関係者を含め総勢36名が参加して行われました。

駅に集合し、最初の目的地「日枝神社」を横目に見ながら、一足先にランチ。料亭「赤坂茶寮」での懇親会で懐石料理を満喫し、一路山脇学園に向かいました。山脇学園側では西川入試広報部長・石塚事務局長・海城出身者の加藤教務部長の三方に出迎えて頂き、かつての校門と感激の対面に一同感嘆しきり。特にご厚意に甘えて正門を開けてくれたのは感動した。この門は150年前の建造物であることに「すごい!」ということしか無い。参加者のほとんどが初めての対面で、感激し、あつという間の2時間であった。海城の古賀事務局長は「もう一度来てみたい!」と深く感銘を受け「歴史の中の海城」に思い馳せている様子でした。

(見学会部長 昭和36卒 杉山絃千佳)

鉄研創部50周年プレイベント

来年創部50周年を迎える海城学園中高鉄道研究会はそのプレイベントとして10月22日(土)に長野駅と湯田中駅を結ぶ私鉄路線、長野電鉄にて貸切列車「うなばら」を運行しました。



貸切列車「うなばら」in長野 電鉄を運行

め、36名の老若男女、幅広い年齢層の方々に参加いただき、信州の秋の車窓や特別に用意された「まぼろしの駅弁」を楽しみました。



鉄研OB会では、前回

昭和37年卒 麻生 勁
海原会囲碁部が誕生して半年、11月7日に新宿囲碁クラブ喜楽で第一回の部会を催しました。参加者は5名ではありましたが和気あいあいと碁をたのしみ、毎月第一月曜日の例会を今後も堅持してゆくことを約し、無事終了することができました。囲碁を絆としたこの親睦会への皆さまのご参加が人生の良き一期一会になることを祈念してお待ちいたしたいと考えております。参加を希望される方は麻生(090-3812-6696)まで連絡ください。

海原会囲碁部誕生

会員募集

に富み、スリルとサスペンスの世界に引き込まれる。最後まで予断を許さない。ここに人を引き付ける碁の魅力があります。囲碁の歴史は古く、紀元前にさかのぼります。我が国でも奈良時代の遣唐使の中に専門の棋士がいたし、時代が移っても往時の著名人たちが碁を楽しんでいる絵画や棋譜が残っており、興味の尽きることがありません。碁の本質は全く変わることがなくその面白さは色あせることがありません。これが長きにわたり廃れず愛され続けた理由にもなっています。中国・韓国では学校の学科に組み込まれているほどです。成長期の学童の潜在能力の開発に期待しているのが伺われます。



学園案内ツアーに参加 来場者2000名超える

海原会サロン

今年には学園創立25周年、海原会設立95周年と言う節目の年。海原会サロンは第7回を迎え9月17日(土)、18日(日)の海城祭に開催した。展示室が2号館6階という恵まれた環境であつたこと、スタンプラリーの他に初めて校内案内ツアーで人気の「海城ツアー」に参加。海城への入学を考えている方。海城についてもっと知りたい方。必見ですと言うキャッチフレーズに釣られて大勢の方が20分おきに来場した。その結果、期間中の来場者数が今までにない2000人を超えることとなった。



展示内容の主なもの、入場からの主要部分をメディア会に

「時代を創った海城人」は今年も厳選して70人近くの人を展示した。結果から見てその多様性と数の多さに感心。個性のある先輩が築き上げた伝統が、新しい紳士の活躍の世代に繋がって行くと思う。「海外支部」のコーナーも欧米、東南アジアなど流動的だがそれだけ発展中だと感心。実績活動報告である総会、懇親会、ゴルフOB会、野球応援、吹奏楽団など写真でのレポートもある。

今後は更に限られたスペースであるが、展示物コーナーやインフォメーションコーナーを充実させてサロン本来の目指す機能を出して行きたいものである。

併設したブランドینگグッズのキャップやTシャツの販売は好評であった。

そして今年の「集客戦略」として行った二定間隔で次々に押し寄せるツアー見学者を一手に引き受け対応した国井氏の活躍に感謝の意を表したい。

(海原会サロン支配人 石原長夫)

海外海原会

ロサンゼルス支部訪問



10月初めにロサンゼルス支部を訪問して来ました。宮田支部長(昭和45年卒)、玉栄副支部長(昭和41年卒)に大歓迎を受けました。

玉栄副支部長のお兄様も昭和39年卒でハワイ在住との事。ロス支部を軸にアメリカ在住のOBを多く集めようと大いに盛り上がりました。

昭和41年卒 森山昭洋



那須高原海城高等学校 教頭
平成3年卒 塩田顕二郎

高校3年生8名が最後のナスカイ生として多摩で過ごしています。彼らは後輩がいないという特異な環境のなかでも、那須海城をもっとよい学校にしたいという思いを常に持っていて、この6年間先輩たちが培ってきたナスカイ魂を大切に受け継いできました。しかし、そうは言っても今年は8名しかい

ません。正直、那須海城祭・体育祭が従来のように開催できるのか、私たちは心配していました。しかし、当の彼らははじめから「那須海城祭も体育祭もやるぞ!」という強い気持ちで固まっています。迷いは一切ありませんでした。

ナスカイ最後の卒業生

8名で文化祭・体育祭を盛り上げる

さあ、6月の那須海城祭。展示ブースの数を集約する、喫茶店の営業時間を限定する、おぼけ屋敷を迷路に変えるなど、少ない人数でも運営できるような工夫を随所に取り入れました。また、卒業生・保

護者・教職員にも積極的な参加をよびかけ、気づけば来場者も那須海城祭の作り手のひとりになっている「全員参加型」の文化祭を見事に創りあげたのです。

そして9月の体育祭。今度は卒業生・保護者・教職員が選手として参加し、在校生8名と勝負するといった形式で行われ、リレーや球技、童心にかえってフルーツバスケットなど多彩な種目で大いに盛り上がりました。体育祭名物の応援合戦も健在で、今年もキレキレのダンスと爆笑パフォーマンスを披露してくれました。



那須海城祭も体育祭も果たして8名の生徒でできるのだろうかという私たちの心配は杞憂に終わりました。むしろどちらも最後にふさわしいナスカイ生の絆を強く感じる行事になったと思います。8名の強い気持ちはしっかりと実を結びましたし、その先輩の呼びかけに心えて多摩キャンパスにわざわざ駆けつけてくれた卒業生の気持ちは嬉しく、とても誇りに思いました。

来年3月5日。那須海城19期生となる8名の卒業式です。このときもまた多くの卒業生が彼らの門出を祝福しようと参列してくれることでしょう。ナスカイファミリー全員で校歌を高らかに歌いたいと思います。

あの頃の学園生活―昭和20、30年代編

我々はここで育てられた

昭和27年卒 砂田郁郎さん



我々が中学に入学したのは昭和21年、戦後一期生です。校門のところにMPが立っていたと記憶する。山手線のド

アは横木だった。当時は駒沢に住んでいたが買出しに農家にいったこともある。新宿三越のところで雑炊に長い列を作っていたのも思い出す。学校の裏手に三角山に射撃場があつてよく薬きよう拾ひにいった。ロッテはまだ工場というより露天状態で、大きな鍋でガムを煮ていたのが良く見えた。

受験意識ないユニークな授業

中学は4クラスでした。担任の先生は小寺先生（英語）でした。歴史の浜田先生は受験を意識することなく歴史の面白さを認識させてくれた。英語の野原三郎先生はユニークで校庭に円を描いてイン、オン、アウトなどと言いながら生徒にその中に入ったり出たりさせて言葉の意味を体感させていたの思い出す。SUNとかSUNDAYとか唱えながら行進させることもやっていた。私が社会人になってラジオの仕事をやっていたのを思い出す。SUNとかSUNDAYとか唱えながら行進させることもやっていた。私が社会人になってラジオの仕事をやっていたのを思い出す。

た時先生にお願いしてラジオの英語番組をつくったこともありました。当時大学進学はまだ少なかったと思う。中央とか早稲田とかが主流だった。私の入った立教は2人だった。（あと一人はマヒナスターズのリーダーで音楽家になった松平氏）一年後輩に女性が入ってきた。部活は盛んというか色々やった。水泳部に入っていたが、当時海城にはプールはなく戸山小学校のプールを借りたりしていた。また日大のプールを使わせてもらったが、のちにオリンピックで有名となった古橋とか橋詰が大学生で泳いでいた。同期の松平も水

泳部で一緒だった、インターハイの準優勝までいったこともありました。演劇部では先輩からお前やれという感じで脚本とか演出とかやっていた。一年後輩に女子生徒が入ってきて演劇はずいぶん盛んだった。荷車に舞台装置などを載せて演劇コンクールにも参加した。合唱部では指揮をやっていた。将来音楽プロデューサーになりたいとその時思っていた。文芸部は変わったやつばかりいて、よくその仲間の家でマージャンをやっていた。でもこのマージャン仲間の大学進学率は高かったです。

昭和28年卒 片山忠美さん 寄稿



国民学校から始まる

昭和28年（1953）に高校を卒業した学年の私たちにとって、第二次世界大戦はさまざまな節目

イ真珠湾を奇襲。ラジオが「大戦果」を伝え、宣戦が布告され第二次世界大戦に突入する。新聞、ラジオ報道は連日の日本軍大勝利を告げたが、こどもの日常は急に変わったわけではない。石けりをし、メンコやベゴマで暗くなるまで遊び、腹をすかせた。夕食は米飯に一汁一菜、粗末ながらも満足して眠りについた。

大戦に翻弄されたS28年卒業生

身辺からは、武器や弾薬の原料になる鉄や金属の製品を供出させられる。子供の雑誌は毎号ページ数が減っていく。学用品などあらゆる生活用品が手に入りにくくなる。乏しい食品は配給制。「憲兵」の腕章をつけた兵がこわかった。

戦争に勝ち進んでいるはずの日本の都市は、銃剣術の木の棒の束・剣道の竹刀や防具、太網のネットなどが納められていた。さすが旧海軍の兵学校予備学校だと思つた。海城中学校の裏に保養中学校があり、山手線の側道を高田馬場駅方向へ行くと、そこには三角山があった。かなり大きな土の山で周り中から穴が空いており、中は迷路のようだった。放課後にドロコになって皆んなで遊んだな。

は、銃剣術の木の棒の束・剣道の竹刀や防具、太網のネットなどが納められていた。さすが旧海軍の兵学校予備学校だと思つた。海城中学校の裏に保養中学校があり、山手線の側道を高田馬場駅方向へ行くと、そこには三角山があった。かなり大きな土の山で周り中から穴が空いており、中は迷路のようだった。放課後にドロコになって皆んなで遊んだな。

疎開があつた。疎開児童を受け入れた側の方々が大変だったことも当然だ。生きるためにはまず食糧。皆やせ細つた。疎開も長くは続かなかつた。米軍の空爆により、都会は焼き払われて、どこからも富士山が見えるようになった。それぞれの家族がどうなっているかも分からず、疎開児童は家のあつた町に戻されることになる。一面の焼け野原に帰ってきたが家族が亡くなったり、所在の

分らない者もある。深刻な物資不足。衣、食、住のすべてが極端に不足する中でよくも生き抜いたものと思う。昭和20年（1945）ついに敗戦の8月15日、日本国民が初めて聞く、天皇の声がラジオから流れた。集合させられた夏休み中の校庭で聞いた時のこともたちは、何を意味するするのか、理解できなかった。私は家へもどり、ラジオの前に座りこんでいる祖父から「日本は敗けた」と聞かされて、「ウソだ」と叫んだ。私は愛知県の祖父の家に疎開していた。教科書など



無論ない。教科書は戦後には不適切な箇所墨を塗るよう指示され、見開きのページが全て黒くなると貼り合わせるようになる。意味のつながらない文章など読みようがない。読まれた記憶もな。

第二期新制中学校生

「国民学校」は「小学校」になった。昭和22年学制が変わり、中学校が義務化される。一面の焼け野だった中に海城の校舎は立派だった。新中学校を収容する校舎がまだ建築されてなかった。戸山小、大久保小、天神小三校の卒業生が海城の一年生として受け入れられた。翌年に新築された新制中学校の校舎へ移ることになっ

昭和32年卒 渡辺貞一さん 寄稿



ガムの香りと物置

僕らが海城中学に入学した昭和二十六年は、まだ敗戦の痕跡が色濃く残っていた。京王線の新宿駅の改札口は甲

は、銃剣術の木の棒の束・剣道の竹刀や防具、太網のネットなどが納められていた。さすが旧海軍の兵学校予備学校だと思つた。海城中学校の裏に保養中学校があり、山手線の側道を高田馬場駅方向へ行くと、そこには三角山があった。かなり大きな土の山で周り中から穴が空いており、中は迷路のようだった。放課後にドロコになって皆んなで遊んだな。

なつてしまいました。水無のドンづまりが滝になつていて、滝づめをし塔ヶ岳のバカ屋根を走り下りるのが恒例でした。同期では、故田中宏君、牛込壮造君、柴田筆君の三人がメンバーでした。夏のアルプスも秋の中央アルプスもかい駒ヶ岳、冬の中央アルプス縦走、冬のハツケ岳、厳冬の北八ヶ岳から夏沢峠をこえて岩山の多い南八ヶ岳を縦走した。



ところ
で中間
点呼を
取り、
全員無
事を確
認して
二合目
ゲレン

州街道に近い所にあり左側はトタン板に囲まれた塀が青梅街道の方まで続いており、トタン板の道には戦争で負傷した傷痍軍人が沢山「物乞い」をしていた。

僕は太ガドをくぐって左に曲り山手線沿いの細い道を太久保通りまで歩いた。そこまで来ると「ブーン」とあまいチューインガムの香りがしている。ロッテガムの工場なのだ。正門の本校舎は玄関にピロティがあり、塔屋には大きな校章が光っていた。旧校舎の階段下の物置があった。コジ開けると中に

山岳部の仲間達

海城山岳部の部長は可児虎夫先生がいて大貫金吾先生は副部長になりました。一年上の先輩たちも居て丹沢

海城学園六年間の思い出

山の水無川で週末「しるこ祭」をすることが慣例になっていました。小田急線渋谷駅で下車し、東丹沢の水無川に夜入るのです。奥に営林所の小屋がありカギを壊して中に入り込みランプの照りの下「しるこ」を食いました。終わりに灯りを消して闇鍋に

高二の十二月新入生達を伴いアイスワーカーやスキーレーシングのため、吉田口から富

士山へ入った。5合5尺を登るとアイスパールになる大沢のがれ場は遭難が多く雪なだれも起る。七合目から7合5尺の間でトレーニング、3時半頃吉田小屋を立てて五合目まで大沢キレットをトラバースし三合目の大宮ほこらまで二気に滑り降りた。鳥居の



デ上部まで滑り降りた。その時、

新入生の中島君が居ないことに気づき全員及びグレンデの人とも捜索に当たったがついに見つからなかった。翌朝彼は伐切道に迷い込み、下の方でスキー片足を流し雪中で凍死していたのだ。私の山生活では最も悲しい事件であった。

昭和32年卒 坂下 泉さん 寄稿



昭和二十九年（1954）四月二十一日、「造船疑獄事件」

での佐藤自由党幹事長逮捕許諾を吉

田首相の意向に従って、大養法相が検察庁に逮捕回避を指示した「指揮権発動」で政治不信の高まったところ、我々は、新宿区百人町の海城高校に入学しています。米軍の標的にされたであろう重厚なコンクリート製二階建て校舎、その前後を広い校庭が守る形の学園は、焼け跡の残る都内しかも山手線内側では貴重な存在でした。特に、校舎裏は広大そのもので運動会はむろん、野球部などに活用された大変立派なグラウン

ド。今日、わが海城は、国立大学、有名私立大学の進学校ですが、当時は広い校庭を生かす運動気質の強い高校でした。活発な運動部

野球部が昭和三十年（1955）夏の都

大会において、投手 横松、捕手 江連の健闘を主将兼中堅手 藤沢 や四番打者で三塁手 渋谷等野手陣がよく援護し、甲子園大会も射程距離の準決勝まで進出しています。一年先輩のこの

「闘志と忍耐」坊主頭で過ごした海城

頑張りを見習っていた同期の主将で、四番打者で一塁手 甚野、投手 荻原、三塁手 守谷、遊撃手 江川等は厳しい練習にも耐えており期待大でした。しかし、相手の荏原高校には、プロ野球大洋に行った好投手 幸田がいて、前年横松投手に投げ負けた、南海に

入団した駒場投手の敵討ちにあつてしまいく残念無念。

サッカー部でもわが同期生は粒揃いでした。許、具、元といった朝鮮高校からの転校

組FWを大熊、佐々木、西尾らで支えて、GK 墨江が守りを固める布陣です。強豪城北高校などを破って、今はなき後楽園競輪場での東日本大会に出場し、岩手 遠野高校に善戦するも敗退。でも、許はベストイレ

ブンに選ばれたる働きを見せてくれました。

多士済々の教諭陣

肝心な教室に目を移せば、教諭陣は多士済々で、黒板に＊印で重要事項を喚起して下さった社会の長渡信久先生、教材「ベニスの



時先生との間で海城中学出身組がボストン印象派論を展開してその博學ぶりをみせ、都立高校落第組傍聴者には強い打撃でした。

昭和37年卒 前田則義さん 寄稿



私は昭和34年に入学しましたが、1年A組の担任は数学の大貫先生でした。教室は1階でしたが、廊下をはさんだ部

屋にパン等の売店がありました。そこでは昼近くになると大きな鍋でトンカツを揚げ

ており、いい匂いが教室にただよってきたのを覚えています。熱々のトンカツは大人気で

多くの学生が集り、なかなか買えませんでした。大貫先生は、山が大好きでいつも日焼けしていま

化学部の楽しい思い出

したが、黒板の字や図形が上手でとても分かり易い授業でした。自宅は新宿区原町にありましてので、毎日自転車通勤したお蔭で、足腰は丈夫に

なりました。2年生の時「化学」の授業を榎田先生に学びましたが、元素の周期律表の重要元素記憶術を初めて習いました。

今でもかすかに覚えています。それは、（お金を）貸そか、まああてにすな、ひどすぎるしゃっきん」これだけではさっぱり分かりませんが、お話しされる先生の真剣なお顔が浮

かんできます。化学は実験があるので大好きでした。化学部に入っていた関係もあり、先生から授業の実験の手伝いを依頼されたこともありました。化学部では先輩の大西さん（昭和36年卒）から指導を受け、分析用試薬をたくさん作るなど、大変お世話になりました。文化祭では、化学マジックのいろいろな実験でみなさんに楽しんでいただきました。化学部の部報「含蜜」（セイミ、化学の日

たが、希望者は海城生として残った。海城高校に女子の卒業生が存在することになった。

大学で「球拾い」だったのに体育会野球部出身が効いて、昭和三十七年（1962）甲子園大会で初の春夏連覇した作新学院高校と東映フライヤーズのプロ野球日本一獲得などをカメラマンとして取材、「東京五輪大会」を肺結核で棒に振る挫折こそあったものの、『報道機関で働きたい』との中学校以来の夢は、四十年近いTV局生活で『大願成就』です。これも坊主頭で過ごした海城が授けてくれた「闘志と忍耐」のお蔭、遅くなりましたが『深謝・深謝』です。

本の旧称）を作成しましたが、先輩や部員から原稿を集め、当時は謄写版で印刷しましたが、毎回インキで手が汚れ困ったものです。

卒業式では、卒業証書をいただいた後、功労賞をいただきましたが、何も聞かされていなかったもので、びっくりしました。これも榎田先生のお心遣いと改めて感謝いたしております。私は現在環境教育講師として週3回勤務し、地域の環境団体の責任者などをやっております。



右端が大西先輩

海原会 第95回 総会

平成28年度海原会総会は6月11日(土)午後3時より母校海城学園講堂にて開催。今年は学園が11月1日に創立125周年を迎え、海原会も大正10年発足以来95周年となる区切りの年でした。会では会長、理事長、校長の挨拶に続き会計報告、活動報告が行われた。恒例となった卒業年度表彰は卒業から20年目の平成8年、から10年ごとに5段階、昭和31年卒(60年目)までの卒業生を対象に行われ、総会に参加した計87名の方に記念品が贈呈されました。吹奏楽団による校歌斉唱後、カフェテリアに場所を移して懇親会。出席者は昨年を少し上回る300名を超えて元気に賑やかに盛大に行われた。

(海原会副会長 石原長夫)



カフェテリアに掛けられた太田画伯の絵に集う海原36会メンバー



新会員による万歳三唱



講堂を埋める300人を超える参加者



「基地」としての海原会

海原会会長 徳光和夫

皆さまお暑い中ご参加いただきまして誠にありがとうございます。今回は18歳から最高齢は94歳の大先輩までご参加いただきました。またなんとアメリカからもお越しくださいました。ありがとうございます。

10月に大会を実施しますがまだまだ空きがあります是非ご参加いただけたらと思います。さらにベトナムに海城OBのプログラムがいますのでそちらでゴルフをやるんじゃないかといったプランなどもあります。また野球部

ております。ご用命、ご報告をしていただければ会報などを通じて会員の皆様にご案内させていただきます。よろしくお願いいたします。

皆さまお暑い中ご参加いただきまして誠にありがとうございます。今回は18歳から最高齢は94歳の大先輩までご参加いただきました。またなんとアメリカからもお越しくださいました。ありがとうございます。

10月に大会を実施しますがまだまだ空きがあります是非ご参加いただけたらと思います。さらにベトナムに海城OBのプログラムがいますのでそちらでゴルフをやるんじゃないかといったプランなどもあります。また野球部

70周年迎えます。今年も東京大会で後輩を応援したいと思ひます。海原会は会として大きなことをやるというよりは、いろいろな分科会、地域会、同期会などがあります。そういったそれぞれの活動の受け皿になりたい、伝達網の「基地」の役割を担いたいと思ひ

平成27年度決算及び平成28年度予算

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

単位:円

収入の部	平成27年度予算	平成27年度決算	平成28年度予算	備考
永年会費	2,250,000	2,055,000	2,250,000	75名
年度会費	780,000	783,000	810,000	270名
入会金	2,880,000	2,870,000	3,260,000	326名
総会参加費	840,000	748,000	810,000	270名
その他収入	300,000	184,500	250,000	グッズ販売収入
広告収入	0	0	640,000	
125周年誌収入	0	0	50,000	125周年誌30部販売
寄付金	50,000	20,000	50,000	
雑収入	10,000	1,499	10,000	預金利息
合計	7,110,000	6,661,999	8,121,000	

支出の部	平成27年度予算	平成27年度決算	平成28年度予算	備考
会議費	100,000	114,000	100,000	
総会運営費	1,100,000	858,879	740,000	
会報印刷発送費	4,500,000	4,385,294	5,000,000	会報1万8千部、125周年誌1千部
会報編集費	150,000	135,421	150,000	
通信費	100,000	290,837	100,000	
後援活動補助	200,000	200,000	200,000	吹奏楽団後援
慶弔費	20,000	0	20,000	
振替手数料	40,000	44,890	40,000	
貸借料	200,000	251,543	250,000	
事務費	20,000	55,413	100,000	
海原会費	20,000	19,936	40,000	受資者2名
総務費	10,000	0	0	
広報活動費	10,000	0	10,000	
グッズ売上原価	160,000	137,410	200,000	
海城祭参加費	160,000	147,119	160,000	
寄付金	210,000	296,850	210,000	
修繕費	0	0	190,000	
記念品費	0	110,169	350,000	卒業記念品
旅費交通費(グッズ販売)	0	18,640	10,000	
法人税等	70,000	75,400	200,000	法人税・事業税・郡民税の合計
合計	7,070,000	7,141,792	8,070,000	

前年度繰越利益金	12,109,671	12,109,671	11,629,878	
当年度損益	40,000	-479,793	51,000	
次年度繰越利益金	12,149,671	11,629,878	11,680,878	



本日もたくさんの方にお集まりいただきまして総会が開けました。

た。もう一つは皆様がなされた。これらの実現してまいりました。これらの諸活動に最先端のICTを導入することによって一層効果的な教育が期待できるものと考えております。今後の日本の教育は劇的に変化してゆくものと思われまます。リ

ICTで一層の教育推進

理事長 古賀喜博

スクを恐れず果敢にチャレ

会長以下会員の皆さま方のご協力に心より感謝申し上げます。さて学校も一年ごとにとんどん変わっております。まずグラウンドの人工芝化工事が完了いたしました。

的手法を用いた教育や人間関係を構築するための実践教育、中学社会科卒業論文作成さらに国際理解教育を推進するなど、長年に亘って高品質の教育と人間教育を



定期総会の開催まことに改めてとうございます心からお祝い申し上げますが年々増えております。大学

現のために努力してゆく所存でございます。現在の本校生徒数は中学が996名、高校976名で計1972名となっております。微増ではありますが求められるリベラルでフェアーな精神を持った新しい紳士の実現に

挑戦する勇気と多様性を育む

校長 柴田澄雄

す。日ごろ先輩として本校の教育活動にご理解ご協力を賜り心から感謝申し上げます。今後とも本校の教育発展のためにそして生徒の充実した生活と将来に亘る希望の実

合格数も東大30名 早慶が225名 医学部私立公立大合わせ134名など 安定しております。さて日ごろ生徒にはどんな分野に進もうと挑戦する勇気を持つこととチャレンジ精神を重ねてお願い申し上げます。

永年会費納入者

(敬称略)

昭和58	深沢伸一	平成28	中田雄介	昭和57	中野匡人
平成24	堀尾恰椰	平成28	坂本龍彌	昭和55	飯野裕之
昭和40	梅谷一則	平成06	大野進司	昭和54	阿部健一郎
平成01	片野 徹	平成27	坂本慎司	昭和29	下野開康
昭和49	新保正俊	平成27	中村太一	昭和48	石川隆一
平成12	野田堅太郎	昭和47	金子和裕	平成26	北村昂司
	五万円	平成25	平野祐一郎	平成25	小原 遼
昭和49	山本博一	平成12	小関隆善	昭和52	杉野直起
昭和33	谷ヶ崎芳彦	平成28	山野純也	平成11	青木 剛
平成21	前納貴裕	平成05	松崎 淳	平成10	渡辺浩志
平成10	中山宏記		三万三千元	平成26	角 文真
平成26	宇津野芳彦	平成28	三田澁己		(他 無記名一名)
平成28	吉松孝彦	昭和56	長尾明利		
昭和45	村越一夫	平成17	加藤 謙		
昭和63	手嶋憲彦	昭和51	及川俊一		

(平成28年5月から平成28年11月まで)

海城生 全国大会・世界大会で活躍

最近、校門や校舎の脇に大きな垂れ幕が掲げられているのをよく目にします。「国際地学オリンピックで金メダル」とか「百人一首で優勝」とかである。これは進学だけでなく幅広い教育に力を入れている成果かと学校側に訊ねてみたら、特に学校側から働きかけている訳ではないが「〇〇の大会に出てみたいと生徒の方から言うてく

平成28年度の主な全国大会・世界大会参加者とその結果
廣木颯太郎君
第10回国際地学オリンピック 金メダル



平成26年卒同窓生 成人式のお知らせ

我々平成26年度海城高校卒業生も、今年度で20歳を迎えることとなりました。つきましては母校での成人式を下記のとおり開催させていただき運びとなりました。内田先生をはじめ、在学中お世話になった先生方も多数いらっしゃいます。式典の後カフェテリアにて懇親会も開催致します。皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：平成29年1月8日(日) 午後3時30分より(午後3時開場)

場所：海城学園 講堂

会費：2,000円を予定(当日お持ちください)

幹事：菅野 泰史、横田 陸

当日はスーツにてお越しください。尚準備の都合上、下記連絡先までメールにてご出欠をお知らせください。お名前と6年時のクラス、ご連絡先をご記載ください。

連絡先：kaijo122@gmail.com

高3で理容競技大会 最年少入賞

松本 伸 さん
まつもと のぼる (昭和32卒)



兄弟で卒業した学園

創立125周年を迎えた学園を兄弟で入学し卒業できたことは我が家の誇りであり人生の生きる自信にもなっている。弟は私と違って学級委員長としてまとめ役を立派に果たしながら卓球部でも活躍していた。

兄の私はいとうと、小学校6年の頃から家業の理容の仕事を手伝っていたので、授業が終わると一目散に家に帰り白衣に着替えて店に出た。なにしろ父は私を理容技術コンクールで日本一にすることが大きな目標だったので、スバルタ教育で鍛えられた。国語の土屋先生や社会の長渡先生は私のトラ刈りのモデルになるのを覚悟して店のある早稲田までわ

ざわざ来てくださった。恩師とは本当にありがたいものである。その甲斐あって高校3年の時、東京山手理容競技大会で第三位に入賞した。経験豊かな大人の選手に交じっての大会史上最年少の入賞であった。

後日新聞記事と大きなカップを持参して長渡先生に報告した。先生は心から祝福して下さい。ある日長渡先生が賞状とカップを持つてくるように言われた。朝礼の時に紹介したいという。全校生徒の前で壇上にあげられドキドキ緊張していると、古賀校長が挨拶の中で「これから紹介する松本伸君は理容の家業を継ぎながら大人の理容師と一緒に出場したコンテストで見事な賞を獲得

した。誠にめでたいことである。本校にもこのように立派な生徒がいるのであるから見習って勉学に励むように……」と身に余るお言葉をいただき、全校生徒から大きな拍手を受けて降壇した。

し、世界の優秀技術者の仲間入りを果たした。長年にわたる功績が認められて東京都からは「東京マイスター」の称号を、国からは「現代の名工」を厚生労働大臣から戴き、天皇陛下からは「黄綬褒章」を賜った。

このような誠に幸運ともいえる人生を今日まで送ってこられたのもそのルーツは海城学園で過ごした3年間にあった。楽しく個性豊かな教授陣、伸び伸びとした学園生活と友人たち。ああ夢のようだった学園での青春時代の思い出は尽きない。学園よ永遠なれ。

箱根に駆けつけた青春

高橋 憲司 さん
たかはし けんじ (昭和40年卒)



大学一年当時の高橋さん

東京オリンピックを2年後に控えた1962年4月、私は浜松を離れ海城高校に入学しました。下宿は東中野で大久保駅で降りての通学でした、陸上部に在籍したのは一年間でそれ以降は一人で走っていました。高校時代は校内駅伝大会の個人タイム1秒差で2位になったこと、3年時の運動会のリレーのアンカーで陸上部員に競り勝ったのが思い出です。

4か月前に負傷手術
とてころがこの直後右膝内側のじん帯をいためてしまい歩くことが困難となりました。9月に目黒の関東労災病院で手術をし、半月程度入院しました。10月に入っても松葉杖を使っていた私は残りの少ない日程を考え、正直無理かもしれないという思いの中自分との闘いが始まりました。早朝からウォーキング、昼の体幹トレーニング、自転車を使つての40キロトレーニング、そして夜の練習と全てを走り力回復の時間に費やしました。ジョギングができるようになったのが11月、そして全力で走れる自信がついたのが12月上旬

のことでした。
その後21キロ走でもライバルを離し、12月のメンバーエントリーには補欠としてぎりぎりの登録に間に合いました。正式には箱根合宿中の1月1日の最終16キロトライアルでトップになりアンカー区間第10区を任されました。

私の走つた1968年第44回大会は日本大学の完全優勝でシード権獲得を目指した立教は総合タイムで早大に8秒遅れ11位となりました。

10区アンカーで走る

私の走つた第10区(横浜・鶴見〜東京)217キロは専修、法政、青山、立教と100メートルの間に4校が続く激戦で八ツ山橋で早大が脱落、有楽町のガード下から西銀座、読売新聞社のゴールまでの約900メートルは大観衆で埋まり、立教大学応援団の校歌斉唱を聞きなが

らゴールしたことは一生忘れることができない思い出となりました。最後まであきらめずに本当に良かった。これ以降私の座右の銘は「ネバーギブアップ」です。



ゴール目指す高橋さん

遠く70年余を遡る昭和19年、激化する大東亜戦争下の学徒勤労動員により海城中学5年東組の我々は高安東京工場で半年余の短期間



高安会 戦没者慰霊碑

でしたが軍需品の生産に励みました。手作りで厚い布地の袋を作る仕事でしたから、一般的な殺伐とした雰囲気、軍需工場と違って敵しさの中にも家庭的な温もりのある雰囲気は漂っていました。このご縁が戦後40年を経過した昭和60年に、当時の高安社長、吉岡工場長、山口（荒）学徒係長らと再会し、高安幹部の方々と当時の海城中学および川村女学院の動員学徒との懇親会「高安東藤会」の結成へとつながりました。戦時中の軍需工場の幹部と動員学徒の40年ぶりの再会は稀有のこととして朝日新聞に記事が掲載され話題にもなりました。

「高安東藤会」が発足して十数年が経過した頃だったでしょうか、高安社長との雑談の中で物故社員を聖地・高野山の名刹で毎年供養していることを承りました。高安社長の社員に對

する温情と、ご高齢にもかかわらず遠路を厭わず法要に欠かさず出席される情熱に頭が下がる思いでした。ほんのりとして高安社長から「学徒の皆さんも亡くなられたら高野山で供養させてもらおうよ」との発言が飛び出しま

高安（株）による 海城中学・動員学徒 の高野山供養

昭和20年卒 岡 和良

した。私はあり得ないこととしてその時はまともな返事をしませんでした。社長が逝去され「高安東藤会」が解散した平成18年に高安社から「亡くなった学徒の方々を高安の社員と同様に高野山の名刹・清淨心院の過去帳に記



高安会 高野山供養 平成21年5月8日
前列、住職の間が高安社長。2列目右端が岡さん

帳し、毎年5月に社長以下幹部社員が出席して法要を営み供養したい」との

正式な申し入れが舞い込みました。故高安社長が本気で話をされていたことを知らされました。「高安と学徒は一心同体」との社長の強い思いが私の胸を打ちました。数人の学徒の意見を聴取しましたが「他に例を見ない格別のご厚情、ありがたうお受けしてよいのでは」とのこと、申入れをお受けしました。ただし川村女学院は辞退したので学徒は海城中学のみが対象となりました。平成19年にそれまで死去した学徒名を高安社に私から連絡し、5月に法要が営まれ学徒が初めて供養され、その後毎年継続しています。海城中学を代表して私は平成21年、24年、28年に高野山・清淨心院の法要に出席し、故人となった学友を供養するとともに高安社と高野山・清淨心院に對し、学徒への格別の取り計らいに對し感謝の気持ちを伝えております。

心の度合いを傾斜させていった。古拙な形式をとどめた民間伝承を頑迷一途に守護する気風をとどめていた先島諸島宮古本島には二年余りに亘り在島した。宮古本島とは指呼の距離に存する大神島の秘祭祖神祭に伝を求めて侵入したこともあった。

20年ぶりの出会い

昭和63年に帰京してからも沖縄に関する文化的な記事を中心に情報を発信する機会は多かったが、そのころ在京の沖縄出身者の親睦団体である東京沖縄県人会のまとめ役、会長職にあったのが海城学園の校長を務めた池城安伴先生であつたように記憶してい

池城校長との 「邂逅の不思議」

昭和42年卒 福田 久



始当時の結束意識は消え、むしろそれ

からの離脱離反願望が強まるという内部意識の変節期にあたっていた。池城先生が在京沖縄県人の有力者として組織の結束維持に尽力されていることを知ったのは私が宮古諸島での具体的な調査研究活動を始めてからだ。いづ時間が経過していたが、懐かしいお名前をお聴きし偶然と感懐に襲われることはしばしばだった。先生のご事績のため学園と直接縁を有しない沖縄県人の中にも先生が海城高校校長の歴任者であることはよく知られていた。私の後半生に大きな影響を与えた沖縄体験であるが、池城先生との「邂逅の不思議」に想いを巡らさざる

をえない。その後宮古島を訪れることは数度に及んだが50歳代後半にさしかかったころ病を得たのをきっかけに沖縄に関する情報提供から身を引いた。そしてそれをきっかけに漸く「近代小説と日本の近代意識」の主題に立ち返る機会となった。学園在校時から高校生向けの雑誌などに高校生小説を発表していたがそれを池城校長先生は折に触れて在校生に向け紹介して下さったのも相応の時間を経てのことは思われたい、つい先立つてのことのように思われる。



我が海城健児が甲子園にあと一步と近づいた忘れられない試合がある。

今から六十年ほど前の昔、昭和三十年の第三十八回全国高校野球選手権大会東京大会（通称・夏の大会）の準決勝、日大二高との対戦だ。海城高校はこの大会を二回戦から登場し、昭和高校（140）、東京工業（130）、都立五商（90）と破り、準決勝で優勝候補にも挙げられていた荏原高校（現日体荏原高校）と対戦し、下馬評とは相反して（71）と快勝した。こ

までベスト8に残っていたのは、日大二高、早稲田学院、海城高校、荏原高校、早稲田実業、立教高校、日大三高、法政一高で、勝ち残りは当時も現在も常連校といえる学校ばかりで、その中に我が母校も入っている。ベスト8に残る

この年のメンバーは三年生の部員だけでも十人以上いてチームワーク抜群で、春先からの好調さを保っていた。というのも、秋季大会でもベスト8に残り、準々決勝で日大三高に（50）で破れたが、調子はそのまま夏まで持続してきた。藤沢主将以下のチームは次第に気合も乗り一段と遅

小学校の頃、体の弱かった私は、海城に入ってから、スポーツをやろうと思った。当時、中学でサッカーをやっていたのは、暁星、教育大付属、青山学院、朝鮮中くらいであった。高校に入ってもサッカー部に参加して活動した。顧問の磯田先生は、名前だけで監督、コーチも不在で、上手な人が教えていた。フォワードは攻撃のみ、バックは守備だけで、フルバックはシュートせず、練習もしなかった。オフサイドは、殆ど取らず、明らかなファールは、審判がホイッスルを鳴らす程度であった。当時の運動部の予算表でも分かるよう

手さはないが攻守のバランスが取れているし、どんな相手校にも打ち勝つという自信を持っていた。切掛けさえつかめばあとは打っていくだけ、サインなどは格別いらぬという気分だった。エース横松投手は、凄みはそれほどないが投球は丁寧でコントロール抜群で沈むボールもある。また、シュートも良く切れ、カーブも大きいのと小さく鋭く曲がるのを巧みに投げ分ける。これらがこの夏は調子が良かった。

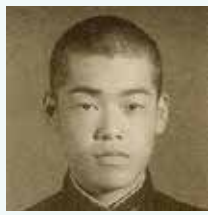
試合は、日大三高の先攻で始まり、一回に両チームともそれぞれ一点ずつを取り合い、三回に相手が一点を取ると、五回には当方も一点を返して同点になるというシーソーゲームが続いた。そして遂に七回に日大三高に一点を取られてしまった。この回、相手のスクイズのサインを見破りながら、外したウェストボールのアウトハイを江連捕手が焦ってバスポール……この一点がなかなか追いつけずに命取りとなった。一番打者の加藤岡が二安打して気を吐いたが、中軸打者にヒットが出なかった。加えて三番打者の藤沢がチャンスに敬遠されては、勝利の女神に見放されてしまった

に蹴球部の発言力は強かった。東京蹴球協会・東京都学校体育連盟主催の昭和三十一年度東京蹴球リーグ戦の成績は下記の通りです。

海城高11―1駒場高、海城高2―2早稲田高、海城高13―0九段高、海城高3―0新宿校、海城高6―1成城高、海城高6―0戸山高、海城高6―0戸山高、圧倒的強さで、5勝1分けて二位予選通過でした。

海城野球部の活躍期

昭和32年卒 萩原正昭



のだろう。投手の横松は体重五十キロ台で、この暑い夏の連戦続きで肉体的にももう限界だったのかもしれない。このチームは渋谷三塁手、荒木一塁手の二人が背が高

会では三回戦で荏原高校に（16）で敗れ去った。それも先発投手は私で、初回五

話はこれで終わりではなく、もう一つ同じような年があった。それは高校野球連盟に海城高校が加盟して二年目の昭和十四年の夏の大会のことである。

夏合宿などでは、ヤカンに水を入れた水は用意されていたが、終わるまでは水に蹴球部の発言力は強かった。東京蹴球協会・東京都学校体育連盟主催の昭和三十一年度東京蹴球リーグ戦の成績は下記の通りです。

50年前 サッカー部は強かった

昭和32年卒 西尾勝治



文化部31年度予算	運動部31年度予算
文芸部 40,000	野球部 99,000
新聞部 76,000	剣道部 35,000
美術部 33,000	水泳部 25,000
演劇部 16,000	山岳部 20,000
物理部 20,000	庭球部 15,000
化学部 26,000	卓球部 17,000
生物部 21,000	陸上部 28,000
写真部 16,000	排球部 18,000
	籠球部 30,000
	蹴球部 79,000
	柔道部 36,000
計 250,000	計 400,000

この年も前述の昭和三十年と同じように好調で、春の大会でベスト4に勝ち残り、明治高校に破れて第四位に終わっていた。そして夏が来、前年に軟式から硬式野球部に変わって尽力された高野、桜木先輩らにとっては高校生最後の三年生になった。因みに、この年の参加校は百八校だった。一回戦から順に見ると町田高（240）、都立六高（現新宿高）（70）、都立五商（101）、勝ち進んで、四回戦で、高師付高（現筑波大付高）に九回逆転勝ちして、準々決勝に進み、早稲田実業と対戦したが（50）で敗れた。春には、高野投手の粘り強い投球で同校に準々決勝で（43）と逃げ切っていただけに、夏もあわよくばという気にもなったが、相手のエースを打ち崩せずに一方的に敗れた。

最後に、昭和二十四年と昭和三十年の両チームの好成績は、今は亡き河原孝好先生のご指導の賜物と感しますが、卒業生全員が深く感謝しています。先生には海城野球部のご指導を四十八年間にわたっていた

だきました。平成五年三月三十一日に海城学園を退職され、平成十七年十月二十日に逝去されました。享年八十一歳。心よりご冥福をお祈りいたします。

グラウンドを走り回り、顔のシミは勲章として残り、最近では、ゴルフで日焼け止めクリームを塗っているが、これを手遅れと言わしい。

昭和32年卒 K G Association ゴルフ同好会、今や同期会

K G会32は昭和三十一年海城学園高校卒業生のゴルフ同好会として、平成五年に和田昇三と相談して参加者を募り発足しました。公式戦は春・秋二回、その他新年コンペ、忘年コンペ等開催してまいりました。本来、K G会32はゴルフコンペ同好会でしたが、同期の新年会、飲み会にもK G会名が何時の間にか使われるようになり、ゴルフをしない人も参加して愉しんでおります。皆さんの現役引退時期の平成十七年からは毎年秋には、宿泊してゴルフと観光を楽しむ企画も行っています。これまで北海道、九州鹿児島、金沢、仙台、近郊では箱根、伊東、河口湖などで実施してきました。何れも宿泊時の夕食飲み会は成績発表等のゴルフ談義でユニークさがあります。



尚、K G会32ゴルフ同好会には三十名位のメンバーが居りましたが、加齢等により参加者減少傾向です。幸い女性方も参加して頂いておりますため、幹事として感謝致しております。ハンディキャップにより技術レベルや年齢に関係なく、仲間と対等にプレーを愉しめるのが、ゴルフ（ジャック・ニクラウスはゴルフはゲームと云っていますが）うつ（何歳）までできるか？

松岡征治



海原卯辰会 昭和20年前期卒 米寿の精鋭集う

我々20年卒は卯年と辰年生まれで、みな米寿を越しました。平成27年11月15日に病気で歩いて出席できるものが集まって米寿を記念する第38回目（第一回は昭和50年）の同窓会を開きました。場所は市ヶ谷の私学会館。13名の精鋭が集まり旧交を温めました。胃潰瘍で



同期会 クラス会 だより

海原二三四会

今や穏やかな兵たち

昭和18年入学の私たちは学制が旧制から新制に移行する第1号となったために、中学4年修了から旧制高校や大学予科に合格した22年組、中学5年で卒業する23年組、更に高校3年にスライドして新制高校第一回卒業生となる24年組と3年わたって卒業したもので、同期会も海原二三四会と命名した。毎年5月には新宿住友クラブに全員集合し、毎月第2火曜日には三井クラブに有志が集まり友好を深めている。残念なことは出席者が10人に激減したことである。メンバーを紹介します。

前列左から、土井穰は浅草育ちの江戸っ子で喧嘩上手の硬派で喝らした。3月10日の東京大空襲では四面猛火に囲まれた中を持ち前の勘の良さでぐり抜けた最も厳しい戦争体験をした男。敵撃



減を誓い終戦の8月には海軍予科練に入隊する予定だった。その右、梅原力は入学から卒業まで東組の級長を務めた。一度も学年トップの座を明け渡さなかつたのだから我々の仲間で一番頭の良い男ということになる。東京電力

湘南海原会

第41回湘南海原会例会開催

恒例の第41回湘南海原会例会をいつもの茅ヶ崎駅ビル6階の「快飛び」で行いました。今回は間が悪いと言いますか、歯科予約定期検査当日、あいにく出勤日等々が重なり少し寂しい例会となりました。前回出席頂いた海原会会長の徳光様が正月番組の終日録画日で欠席されて残念でした。当会は昭和18、9年の海城中学卒業生の大先輩から我々37年海城高校卒業と言う大変幅広い世代



に入社。送電を担当。今こそ非難轟々の東電だが優秀な学生が就職する会社だった。

次は筆者の泊で二三四会会長を命ぜられていたので真ん中に座っている。戦争中は時局好転の道はないものかと新聞に僅かに載る外電を探し読みしていた怯懦な少年であった。今だに「億総活躍」と聞こくと穏やかではない。この中で唯一一人の新制高校生。

右隣の藤城能教は北組の級長、我々の期からは10名ほど東大に合格したがその中の一人だ。大学院まで進み10年も大学にいたというのだから驚く程の勉強好きである。川崎重工で日本の高度成長を支えた工学博士。

右端の杉浦宏は上野動物園水族館、多摩動物公園水族館館長と魚一筋に歩み、該博な知識と中学時代から群を抜いていた《しゃべくり力》で、昭和から平成50年間、TBSラジオ「こども電話相

談室」の名回答者として日本文化に大きな足跡を残した。

後列左から、池田多門は軍国少年一色の時代にあつて、米軍が上陸して来たら竹槍で向かい撃つなどという国やマスコミの言動を見て、日本の敗戦を冷静に予見していた男である。彼の出身母体のおかげで二三四会の会場は住友クラブや三井クラブを利用出来ている。

森昭雄は剣道の名手。兄は終戦間際紀州沖の米艦に特攻として散華した軍神。当時日本本土はすでに米国艦隊に包囲されていたのである。昨年最愛の夫人を喪い失意の底に沈んでいたが二三四会の仲間のお蔭で生きる気力を取り戻したと言ってくれている。

平岩寧は欧州の大作曲家の譜面を独断的に輸入する会社を運営し、いまだに現役。一方で《西荻・平和まつり実行委員会》の主要メンバーとして戦争体験を語りつぐ小冊子を発行し、その中で貴重な

府中競馬場勤労働員の体験記も綴っている。

嘉藤良平は温厚中庸の生徒に見えるが、ある時某教師から喫煙の嫌疑をかけられ、憤然として職員室にまで押しかけ教師に詰め寄り抗議した硬骨漢でもある。当時は喫煙が見つかる在即退学であった。「海城ちゃんといひ話」をたくさん記憶している。

右端の島方重泰は野球の花形選手。小学生時代から頭角を現し敗戦後すぐ海城野球部を創設し、学園に新しい時代の始まりを感じさせた。3番打者で名遊撃手。卒業後も立教・実業団で活躍し、監督として大和証券を率いて全国大会で優勝に導いた。

穏やかに歓談する二同の顔を見ていると生田長江の「ひややかに水をたたえてかくあれば人は知らじな火を吹きし山のあととも」の短歌が浮かんできます。

(泊 懋 記)

の同窓会です。ちなみに昭和18年は37年卒業生の生まれた年になります。大先輩の包容力で何とも和気藹々の世代を感じさせない交流はとて捨てがたいものです。約2時間の歓談の後、来年5月26日の再会を約して散会しました。なお、湘南海原会は近郷近在の幅広い卒業生の皆様のご入会を心待ち致しております。埼玉県新座市からの出席者もお出でになります。どうぞよろしく御願ひ致します。

(S37年卒 佐藤誠二 記)

昭和27年卒 二七想友会 豊饒たる男達

11月9日高田馬場駅近くの同期の坂本氏の自社ビル、フレンドビル内「フレンドクラブ」で開催した。坂本氏のご厚意で「語らいの場」ができた。2回目である。

快晴の日であったが木枯らし一番が吹いた中、傘寿を超えた14名の若者？が集まり和気藹々の内に始まった。

一年があつという間に経ち少しは変わりがあるかと思つたら、健康そのもので杖は持たず、背筋は伸び、豊饒とした男達の語り合いは何とも美しく微笑ましい光景でした。又、談笑が盛り上がり、カラオケの話が出て有志4名が自慢の喉を聞かせあつた。

来年は7回目の干支を迎えるというのに少しも衰えは見えず、来年の再会を約してお開きとなった。
外は知らぬ間に日が落ちていた。



参加者は

坂本誠一・川手和夫・河野恒男・上原繁・大野金次郎・金子五郎・東海林靖夫・竹村裕康・鯨島弘周・砂田郁郎・高田定男・塚田一雄・藤原忠雄・中島可明（順不同）
（川手和夫 記）

昭和31年卒 喜寿の会 卒業60年を祝う

私たち31会は9年前に古希を祝う会をもつたが、平成28年まで集うこと出来



ず喜寿の歳を迎えた。折りしも今年の海原会の6月11日の総会では我々が卒業60年の祝賀表彰の対象となつていたのである。総会後の懇親会が歓談の場となつた。前会から5名の仲間を亡くし、36名の参加であつたが、母校の斬新な電子白板の教

室、体育館、人工芝のグラウンドで躍動する後輩たちを見ることが出来、我々はつけることの無かつたが「錨にNS」の組み合わせの校章のレプリカを頂戴し、これからのこの会を継続してゆく気持ちを新たにしたい。
（村上勲 記）

昭和31年卒 A組クラス会 川柳で近況報告

平成27年10月2日に新宿の「中村屋」8階でクラス会を2年ぶりに行いました。昨年4月から今年の3月で、みんな満77歳を迎えたので、喜寿の祝いを兼ねました。

参加者は総数22名で、遠方の小嶋君が富山から、清水順也君が新潟から、鈴木敏夫君が大阪から駆けつけてくれました。

今回のクラス会から従来の夕食から、昼食会に変更し、また返信はがきに今流行している川柳を1句書いて出してもらおう趣向になりました。作った自分の川柳を大きな短冊に書き、レストランの壁に貼り付け、各自が川柳を読み上げ、それに纏わる話、近況報告をしてもらつた。今回のスピーチで、従来と違った点は、病気の話、孫の話がほとんどなく、健康維持、ボケ防止など大変前向きな姿勢の話が多く感じました。清水君が毎回新潟のおいしい日本酒を7〜8本寄贈していただいたものを今回はほとんど飲み干してしまいました。2時間半に亘る楽しい時間が、あつという間に過ぎ、あとはカラオケ組、お茶を飲む組、帰宅する人に分かれ、次回の再会を期し散会しました。クラス会は1〜2年おきに行い、またゴルフは、2組で、年4回行い、それもカートに乗らず手車を引きながら、老体に鞭



打つて頑張っている人もいることを申し添えておきます。
（柳下清 記）

海原三三会 喜寿が節目と集まる

本格的な冬の寒さの前にほつと一息つくような感じがするような日和小春、陰暦10月の異称と「歳時記」にあり。今年の三三三会は喜寿の祝いを池袋東武百貨店15階「美濃吉」での昼食会とした。出席は19名先ず物故者（今年は2名、見村良修君、宮地明君）に黙祷して冥福を祈る。司会は池内宏君、乾杯は前田がやる。学校の現況報告を古賀理事長からあり。大貫先生、藤堂先生のご逝去の知らせあり、ご冥福をお祈りする。

る。近況報告は先生との秘話、思い出話となり感心したり爆笑したり。君島隆司君は平成17年那須高原校見学以来の出席で、リハビリ中にも拘らず喜寿が節目と頑張つて出掛けて頂きました。涙が出るほど嬉しいことです。楽しい一時でした。会場予約は現役中の永竹久雄君にご尽力して頂きました。来年も元氣な明るい笑顔での再会を誓ひ散会した。
（前田昌則 記）



海原三五会

卒業後初めての参加者も

11月2日（水）、池袋・サンシャイン59階の「星のなる木」において、恒例の同期会を行なった。今回の参加者は22名で、

昨年より1名増えたのは嬉しいことであるが、それ以上に喜ばしいことがあった。それはその構成内容で、前回出席して今回欠席した人と、久しぶりに出席した人と卒業後初めて参加したという人もいて、出入りがほぼ同数だったことである。



もしかすると10数名になっただけかも知れないところを、後者の人がカバーしてくれただけからである。

なお、前回出席で今回欠席した人の殆どが仕事の都合によるものだった。今なお現役で活躍しているのは元氣な証拠、曜日を違えれば参加できたのではない

いかと思う。また、新しく見えた人がいることは朗報である。

そのような次第で、各人の挨拶やその後の懇談も新鮮味があり、いつになく盛り上がったものの時間は冷たい、瞬く間にお開きがやってきてしまった。で、大いに別れを惜しみつつ、次回の再会を期して散会となった。

(渡辺育男 記)

海原三六会 定例総会

多彩な顔ぶれ集う

今年も芸術分野で活躍する多彩な顔ぶれがそろいました。

毎年、海原会総会に合わせて開かれる恒例の36会（昭和36年卒業）総会が6月11日、母校で開かれました。40人ち



い仲間が見守る中、まず太田國廣君が自作の大作「ワン

ダーランド」母子像（150号）を海城学園に寄贈したことを報告。芸

ちに見てもらえるのは光栄です」と話していました。

また、日大芸術学部デザイン学科を卒業。同大デザイン科、大学院芸術研究科の教授をつとめるかわら、グラフィックデザインの分野で幅広い活動が続けている中島安貴輝（忠家）君も参加。学生時代、東京オリンピック組織委員会デザイン室のスタッフとして、表彰台などのデザイン作業にかかわった経験を持つ中島君。「4年後の東京オリンピックがゴタゴタ続きなのは、組織委員会に責任を持つて全体を仕切る人間がいなかった」とのことでした。

他にクラリネット奏者として、仲間と数多くの演奏会を展開。懐かしい映画音楽の演奏を通して、お年寄りに「若い込むのは早い。往年のクラークゲイブルふうにお洒落にカッコよく生きてみませんか」と呼びかける吉本泰一郎君。「今後、活動の幅を広げたい。演奏会の要請があれば声をかけてください」と意欲的でした。

総会では、この秋、11月21日（月）全員で高尾山に「紅葉狩り」に繰り出すことを決定。「好きなことをやる。これが若さの秘訣です」と36会会長の山田雅康君、重武茂任君の「明るく楽しく元気に、一人も欠けることなく来年の総会を迎えよう」との激励とともに散会。海原会総会の後、多くの同人が四谷方面に足を向けたのは例年通り。今回は平成9年卒の井筒サナ君もゲスト参加。「ダイバーシティの時代、異質・異能の人間の混じり合いが生む活力が36会のエネルギー」と盛り上がり、このぶんでは来年の総会にも全員が参加できそうです。

(瀧本喬 記)

海原三六会

卒業55周年の記念登山

海城36会の卒業55周年記念行事として、11月21日（月）に「高尾山ハイイク」を挙行了しました。総勢18名が「高尾山口



駅」に集合、ケーブルカー組と歩行組と二手に別れて行動しました。紅葉の真っ盛りという事もあって、ケーブルカー組はケーブルカーの待ち時間が50分となり、徒歩組に遅れを取りました。「高尾山駅付近で昼食後、全員が「薬王院」で記念撮影。相変わらずケーブルカーが混雑しているので帰りは全員歩行で下山しました。次の忘年会の集まり（12月8日）を決めて散会しましたが、70歳過ぎには山の下山は厳しいとの感想を持ちました。

(杉山紘千佳 記)

昭和42年卒有志

飯塚先生の喜寿祝う

昭和42年卒業有志により平成28年4月17日（日）グランドプリンスホテル新高輪バンケットルーム「イル・レオネ」に於いて飯塚先生の「喜寿のお祝い会」を執り行いました。飯塚先生に措かれましては益々お元気で我々と同級生と云つても遜色が無いほど若々しくお元気でした。久しぶりに参加した人もおりましたので参加者二人一入喜寿の祝辞と、孫と病気の話しはしない事にして近況報告をして貰いました。当日色々な事情で参加出来なかった方も多数おられました。普段海原会総会に顔を出していない人も出席を促して、みんなで記念品を授受する事を確認して散会しました。

(若菜茂樹 記)



昭和50年卒 目良組クラス会 還暦の歳を迎えて

卒後41年、還暦の歳を迎えた今年9月17日に新宿で同窓会を開きました。参加者は13名、楽しく旧交を温めることができました。当日、多くの友から働き人生からの離脱を視野にいられた話を多く耳にした。「でもまだまだ俺たちは終わっちゃいない」。そんなことを確認するために次回同窓会には一人でも多くの出席を希望いたします。次回まだ未定ですが、同期の皆さま「同窓会のご案内」の知らせを受け取ったら万難を排してご出席をご検討ください。新しい友は今からでも作れます。古い友達は今からでも作れます。高校時代の評価、思い出は各人異なると思いますが、同窓会、鎧を脱ぎ捨て、恵ガキの時代に戻って一時を共有しようではありませんか。
(平田高司 記)



昭和57年卒 6組クラス会

遅刻者ゼロ キッカリ開会

暴れん坊10人が久々に集まり、懐かしき母校に集結。海軍の伝統が身に付いた



仲間達は遅れたら校門で大変なこと(笑)が待ちかまえている恐怖から、誰一人遅刻する者無く、時間通りキッカリ開会の挨拶に始まり、欠席者からの暖かい差

し入れの紹介、現カフエリア海城を経営をしている同期学友からの美味しい料理に堪能、卒業から35年の簡単な自己紹介「長い長い」、先生からの締めめの御言葉「現在も弓道を教えていたり、地元で子供達の世話をしている」、そして驚きの校歌斉唱は二番まで、最後は大学体育会所属の学友のリードで大エールで閉会。あつう間の2時間半でした。海城学園を後にした我々は、昔馴染みの高田馬場の居酒屋に自然と吸い寄せられた事は言うまでもない。楽しいひと時を恩師と仲間過ごすことが出来ました。来年も開催予定あり。出席11人(敬称略)・山西頭六先生・荒川・井坪・佐々木・住谷・野沢・原・松岡・師尾・山中・幹事富岡・六田と和田(2次会から) (富岡誠司 記)

昭和58年卒 8組クラス会

あつという間の2時間

昭和58年3月卒業の8組(担任:黒



木先生)のメンバーで昨年に続き、3月19日にクラス会を開催しました。場所は新大久保駅前の鳥良商店(同期会・同窓会ひろば)によく登場するお

時スタート。昨年参加できなかったメンバーも加わり、お互い近況報告。あつという間に2時間経過。次回の再会を約束して解散。
【参加者】写真左から、花田、大畑、堀、大島、会田、深沢、井手口、奥村、堀内の9名 (奥村周永 記)

昭和61年卒 同期会

ロイチ荒海会(仮称)旗揚げ

1986年4月、世はバブル揺籃期。地上げ・財テク・海外投機と今まで聞いたことの無いフレーズがニッポンの上空を飛び交う中、前途洋々たる18歳どもが戸山の原から飛び立ちました。あれから早や30年6月の海原会総会に合わせて650名分の十数名が景色の変わった新大久保に舞い戻ってきました。卒年表彰代表で壇上に上がったヤツはマイクを向けられ「高校出たけれど女性との接し方うまくいかず、そのブランクが30年経った今も埋め切れてい



ません」とホザく始末。徳光会長はじめお歴々列席の中心音を吐くな!? 総会出席者を卒業順に眺めると、50周年の方々が300名の半分に位置していて、我々はまだまだケツが青いなあと感じました。そうは言っても人間何が起るかわからないので手の空いているメンバーは海城の門を久しぶりにくぐってみませんか? 総会・懇親会後は所用者除き8人が

新大久保駅前2F和民にてロイチ荒海会(仮称)旗揚げに集結しました。「Cーさん」や「Sーせん」話など、会報にとっても書けない30余年前の真実の共有に久々に頬が緩み、爆笑に次ぐ爆笑のうちにあつという間に夜半過ぎていきました。アラフィフ連中の不毛の愚痴ゴシ合戦、来年も海原会総会後6時半から駅前居酒屋でやります! この会は海城中・高に1日でも在籍した同期全員が有権者です。

最後に強調したい!! かみしも脱いで学歴も肩書きも家族も捨て去って悪友たちと醜態晒しあう(ヒトに迷惑かけないでネ)場が、人間最低年一回必要なんだ!! (浅賀洋之 記)

昭和62年卒 同期会 来年は卒業30周年だ!

4月17日(日)、昭和62年卒の同期会を実施しました。1次会は海城学園カフエリア、2次会は新大久保駅前の鳥良両方参加の者、どちらか参加の者合わせて、31名の参加でした。

10クラスあった昭和62年卒。担任していただいた10人の恩師で在職されているのは中村久憲先生だけになり、気づけば半数が他界されていました。

どこの大学入った? 就職した? 嫁さん美人? 子どもは? 髪の毛無くなつたな? 病気どうよう? 同窓会の度にその年代のトピックというモノがありますが、ついに「孫は誰が一番乗りか?」という話で盛り上がったのは一同衝撃でした。

来年は卒業30周年です。ドーンと大きな会にしようと誓い合い、新大久保をあとにしました。(国井信男 記)



昭和60年海城中学入学 同期会 13歳で出会って30年

6月11日(土)、1985(昭和60)年

に海城中学に入学した同期14名が新大久保に集い、旧交を温めました。(なんとこのためにジャカルタから駆けつけてくれた同期もいました)。そして、当時、教員

1年目で中学1年3組の担任だった平山教頭先生にもご多忙のなか参加していただき、卒業アルバムを見ながら懐かしい話で大いに盛り上がりました。顔を合わせ

るのは高校卒業以来という同期も数多くいましたが、会えばすぐに昔を思い出します。13歳で出会ってから30年が経ったわけですが、40年、50年とこれからこのような会を続けていくと同時に、もっと輪を広げていきたいと思っています。

写真【前列左から】山門篤史・塩田顕二郎・荒川雄介・平山教頭・菊池秀樹・斎藤貴加年・木村泰史【後列左から】森田尚・池上司・佐藤高博・筒井新太郎・山田武・青木実・川井啓志・常安健介
(H3年卒 塩田顕二郎 記)



OB会だより

98代文実 同期会

ひねくれ者の集まり

98代文化祭実行委員会の同期8名が8月22日、高円寺の「バリトラ」に集まりました。

「バリトラ」は3つ上の文実の先輩が経営する焼鳥屋さんです。我々の代は、海



城祭の顔ともいえるプリントをやらずに、レーシングゲームを製作したひねくれ者の集まりです(笑)
プログラムの表紙がピンクという奇抜さからもわかりますね。卒業して25年経ってみんないいオジサンになりましたが、高校時代にお祭りバカした思い出は生涯の財産となっています。9月の海城祭、また同期で集まって後輩の激励に訪れたいと思います。

(H3年卒 塩田顕二郎 記)

大貫金吾先生の思い出

佐藤誠二(昭和37年卒)

何年か前に海原会例会の後、懐かしい新大久保駅前行われた同窓



会の席上来賓で出席頂いた大貫先生は挨拶の後で突然「皆、俺より先に死ぬなよ」と言われたことが何か心に残ります。富士登山歴五百三十回

以上とか、谷川岳一の倉沢登攀の話等、大貫先生の思い出は数学の授業の合間に皆が期待して聞いていた登山の話

を思い出して何とも言えぬ懐かしさがこみあげてきます。
先生と最後にお会いしたのは、昨年、お住まいの新座市で物理の永井貫先生のお嬢さんのコンサート会場のロビー

でした。永井先生も出席される中で両先生は海城を離れて後、なんと初めて再会されたご様子で両先生がしっかり握手をされました。大貫先生は

とてもお元気でいまにもアルプスの縦

合掌

藤堂先生の訃報に接して

藤堂正彰



先生の生前のご恩に感謝し、心からご冥福をお祈りいたします。

藤堂先生は昭和26年に海城学園に奉職され、国語を担当されました。昭和58年から退職をされる平成4年までは教頭先生をされていました。

立石博巳(昭和26年卒)

藤堂先生の訃報を承りお悔やみを申し上げます。先生と私の家が近く駅で

て持論を述べたところ、「調べておきます」とおっしゃられたまま、お答えを伺っていませんよ。先生。
後日、お線香をお送りしたところ、奥様からご丁寧なお返事をいただきました。

合掌

富田勝彦(昭和51年卒)

授業中、絶対笑わず。「先生はなぜ笑わないのですか?」という質問に「営業中は笑いません。」と答えられたことを覚えています。一度、授業で

先生の解釈に、情景描写などについて授業中、絶対笑わず。「先生はなぜ笑わないのですか?」という質問に「営業中は笑いません。」と答えられたことを覚えています。一度、授業で

浅賀洋之(昭和61年卒)

訃報		謹んでご冥福を お祈り申し上げます。	
昭和08	岡 啓次郎	27	9・29
昭和17	菅原 有恒	23	3・6
昭和18	渡邊 誠也	17	9
昭和19	竹中 敏直	27	5・13
昭和20	宮川 良一	28	4・21
昭和20	山本 東	27	4・13
昭和20	柳川 文雄	27	11・16
昭和21	磯部 信行	27	3・17
昭和21	磯部 富久	27	8・14
昭和23	榎本 孝徳	28	10・7
昭和23	大貫 金吾	27	1・1
昭和25	古川 義春	27	6・2
昭和26	佐藤 衛	27	11・8
昭和26	天田 満修	27	11・29
昭和27	奥野 丈夫	27	11・8
昭和28	磯部 丈広	25	11・11
昭和28	根岸 英彦	27	12・9
昭和29	小畑 壽一	25	12・9
昭和30	加藤 孝	27	12・6
昭和30	山屋 清	28	11・24
昭和31	津田 健	27	10・16
昭和31	川野 幸雄	27	10・16
昭和31	小島 忠雄	28	9・16
昭和33	森 泉	28	11・24
昭和34	市川 武昭	26	12・31
昭和35	信沢 卓	27	7・30
昭和35	福永 光伸	27	4・21
昭和36	笠田 実	28	10・9
昭和36	川岸 浩	28	7・28
昭和36	溝口 舜亮	28	1・21
昭和39	秋山 顕	25	7・7
昭和39	新宮勝三郎	28	4
昭和40	汐澤 隆一	27	10・11
昭和44	保戸塚喜友	27	12・25
昭和46	菅谷 雅弘	26	12・20
昭和47	山田 勉	26	12・20
昭和50	市川 俊雄	28	6
平成02	岡村 威治	28	6

掲示板

模型部 二十周年記念展示会のお知らせ

2016年度をもちまして、海城学園模型部は創立二十周年を迎えました。これを記念して、現役の中高部員・OB合同による作品展示会を開催しますので、以下の通りお知らせします。

- ・日時 2017年3月19日(日)
- ・場所 新大久保近辺(会場が決まり次第、公式URLにて告知いたします)
- ・公式URL <http://sushidume20th.blog.fc2.com>
- ・入場無料
- ・3月18日(土)をOB、関係者準備日とし、夜に懇親会を行います。

過去の文化祭に展示してきた作品や、コンテストでの入賞作品、活動がとりあげられた専門誌等を一同に集め、模型部の歴史を振り返りたいと思います。皆様お誘いあわせの上、是非ご来場ください。持ち込み展示も大歓迎です。

また、当記事をご覧のOBの方は、近況をお知らせ頂きたく、下記電話番号までご連絡ください。

仲地 雄哉(平成20年卒) 080-5520-1728

北総海原会新年会のお知らせ

今年4月に北総海原会が発足して、そのあと2・3人の方の参加希望者が増えました。その間事情があって計画が出来なくなって今に至っています。就いては改めて第2回北総海原新年会を計画中です。決定次第会員の方にはハガキでお知らせいたします。またこの欄をみて参加希望の方はどうぞご参加下さい。

電話は 090-1408-1226 杉山まで

メールは yama2459@yahoo.co.jp 山本まで

ホーチミンでゴルフ会開催 参加者募集中!!

海原会ホーチミン支部では来年1月21日~25日に徳光会長を招いてゴルフ会を開催します。興味のある方は海原会HPよりお問い合わせください。

KAIJO HIGH SCHOOL BASEBALL CLUB 70th ANNIVERSARY

海城高校野球部 70周年記念祝賀会 開催のお知らせ

海城野球部もいよいよ古豪を迎えました。進学校としては既に十分すぎる名声を得ている当校ですが、そろそろ野球強豪校として「甲子園」という栄誉も手に入れておいてよいのではないのでしょうか。意欲を達成すべく、70年という節目の年にOB一同集合し、後輩のために野球部を盛り上げてゆきませんか。以下内容にて開催いたしますので、皆様のご参加、お待ちしております!

- ◇日時:平成29年1月9日(月)13時~(2時間程度)
- ◇場所:海城高校 カフェテリア
- ◇会費:社会人...10,000円、学生...4,000円
- ◇その他:参加された方には記念品を贈呈いたします。当日不参加で記念品を希望される方は、4,000円をお振込みください。
:野球部OBの方でなくとも大歓迎です。保護者の方のご参加もお待ちしております。詳細は別途連絡いたします。
:同日午前9時より、グラウンドにて毎年恒例OB・現役対抗ソフトボール大会を開催いたします。
:田中先生もいらっしゃいます。

主催:海城高校野球部OB会
幹事:佐々木 中野(平成29年卒)

【会報バックナンバー閲覧パスワード】

ホームページの活動レポートからパスワードにて会報のバックナンバーの閲覧ができます。 ユーザー名:kaihou パスワード:k125.U95

自薦他薦、海城OBのお店情報を
お寄せください。

海腹グルメ① 麻布十番

らーめんBAR たくみ

夜の麻布十番。浮かび上がる黄色い看板に描かれたスキンヘッドが店主の宮田匠さん(昭51)。実によく似ている。

高校時代は硬式テニス部長。海城時代は仲間と遊んだ思い出しかないが、生物の長島先生は印象深い。当時の仲間とは今も毎年12月30日に同期会をしている。

海城を卒業した後は日大・サラリーマンを経て、料理の世界に飛び込んだ。中国料理店でひと通り学んだ後、恵比寿で一時代を築いた「らーめん香月」で修行。今の場所

で店を構えて27年になる。オープン当初、麻布十番にはバブルの余韻があった。ラーメンを食べて湘南までタクシード帰る若者、テレビ局から流れてくる芸能人。バブルがはじけ地下鉄が通るところから町が変わり始めた。芸能人は地下鉄が通たら引越していき、飲食店従業員のお客が増えたという。店が終わった後、始発が出るまでの間に彼らが安くおいしく飲める店として「たくみ」はうってつけだった。そうして、2002年の日韓W杯ごろに現在のラーメンBARスタイルが確立した。



テレビで流れるサッカーに気を取られながら、常連が冷蔵庫から缶ビールを出している。チャーシューや駄菓子をつまみに手酌でちびり。仕上はもうろんラーメンだ。お勧めは?という愚問に「全部」との返事。一番出るのは醤油ラーメンだが、塩しか食べない人もいるし、一年中やってい

冷やし中華が目当ての人もいる。冷やし中華は冬の方が出るのだとか。いたいた醤油ラーメンは、しっかり脂のこくがあるのに驚くほどにあつさり。きれいなスープが一日の疲れを癒してくれる。全部1人でやっている店なので、営業中は忙しそうで怖い顔の時もあるが、時折見せる笑顔が実にチャーミングだった。予約不可のカウンターのみのお店なので2~3人までの人数での来訪がおすすめだ。

★特典★

初回来店に限り、平成29年1月31日まで来店時に海城OBであることを告げるとトッピング(のり、こんぶ、わかめ、キャベツ、コーン、やし、バターから)一つがサービスになります。

らーめん たくみ

東京都港区麻布十番1-8-5

パステル麻布 1F

TEL 03(3585)8258 (予約不可)

営業時間 20:00~翌6:00 日曜祝日休

店の奥には缶ビールや駄菓子が並ぶ。



編集後記

◎高齢者時代になった。特有の障害病も増えたようだ。病状を抱えた方は残念ながら母校への帰巣本能もままならないだろう。本誌が少しでも同窓の情報で元氣が出れば幸いだ。

また辛い思いも伺いたいと思っている。良いお年をお迎えください。(山本)

◎秋がだんだん短くなってきました。気象庁は、11月24日、関東各地で初雪を観測したと発表。東京都心での降雪は54年ぶり、積雪が確認されたのは、気象観測を始めた1875年以来はじめてだそうです。ついでの間まで、半袖で過ごしていたのに。(大町)

◎会報の編集にあたり、先輩の話や聞き取りというのは非常に勉強になり、楽しいひとときでもあります。(国井)

◎50年前のサッカー部は強かったの記事(10頁)に当時のクラブ活動の予算表を見た。懐かしかった。当時新聞部に居た、文化部最大の予算だった。翌年の予算会議での白熱したやり取りを思い出した。(石原)

◎皆様の忘新年会のご様子をおホームページ(unabarakai.jp)の「同期会・同窓会ひろば」までお寄せください!(岡本)

編集担当

山本満男 (S27)
片山忠美 (S28)
石原長夫 (S33)
小西洋也 (S41)
大町一夫 (S51)
国井信男 (S62)
岡本浩太郎 (H02)